

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年 2月27日（水）

2 確認箇所

地下水バイパス一時貯留タンクエリア（H3タンクエリア東側）

3 確認項目

地下水バイパス一時貯留タンクエリア水溜まり発生事象の対応状況

4 確認結果の概要

地下水バイパス一時貯留タンクエリア（H3タンクエリア東側）（写真1）外堰の外側において、平成31年1月15日に発見された水溜まり発生事象について、原因及び再発防止対策の実施状況について確認した。

- ・東京電力によると、水溜まりは、溶接タンクの水張り試験に使用したろ過水が漏れ出して発生したものであり、外堰の表面防水塗装の損傷等が原因と考えられるとのことであった。（写真2）
- ・また、再発防止対策として、外堰表面の損傷等が見られた箇所の補強塗装を実施することとし、2月25日から準備作業に着手したとのことであった。



（写真1）

地下水バイパス一時貯留タンクエリア（H3タンクエリア東側）の状況



（写真2）

地下水バイパス一時貯留タンクエリア（H3タンクエリア東側）外堰の一部（外堰の内側から撮影）

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。